

中学校部活動意識アンケートから見えるもの

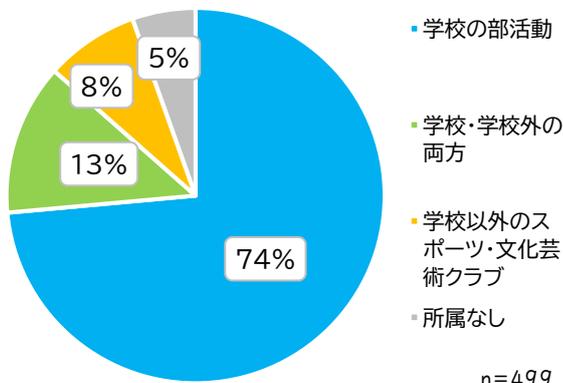


図1 中学1、2年生の学校部活動、及び学校以外のスポーツ・文化芸術クラブの所属について

上三川町立中学校の部活動検討委員会が令和6年2月に発行しました「中学校部活動意識アンケート」について、中学1、2年生の声を中心に考察しました。

95%の中学1、2年生が、学校の部活動や学校以外においてスポーツ・文化芸術活動を実施しています(図1)。一方、小学生5、6年児童は、56%です。それぞれ調査対象者が異なり、相関は測れませんが、中学校入学を機にスポーツ・文化芸術活動を始める生徒は少なくありません。

部活動に所属して良かったこととして、「友人が増えた」との回答が最も多く、活動を通して人間関係を構築しながら活動する楽しさ等を実感しています(図2)。

また、地域クラブ等に所属している生徒は、専門的な指導を基に、技能・技術等を高めるだけでなく、他校の生徒との交流を深めるなど貴重な機会を得ています(図3)。

中学生という多感なこの時期にスポーツ、及び文化芸術活動の楽しさを体感することは、生涯のライフスタイルにも大きな影響を与えるものとなります。また、生徒は教室のみでは獲得することができない豊かな心を育むことは、中学校生活を有意義なものにするとともに、将来を明るく豊かに生きる財産を得ているともいえます。

中学生という多感なこの時期にスポーツ、及び文化芸術活動の楽しさを体感することは、生涯のライフスタイルにも大きな影響を与えるものとなります。また、生徒は教室のみでは獲得することができない豊かな心を育むことは、中学校生活を有意義なものにするとともに、将来を明るく豊かに生きる財産を得ているともいえます。

図2 部活動に所属して良かったこと

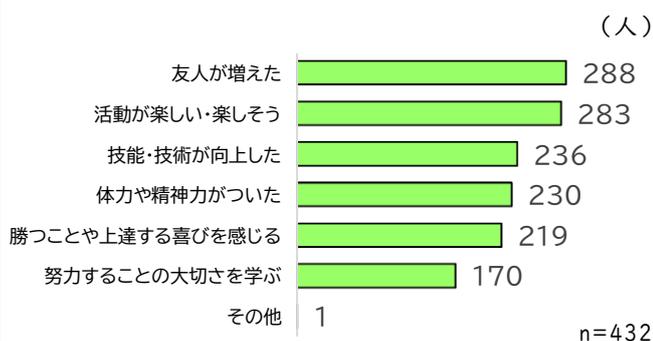


図3 地域クラブ等に所属して良かったこと

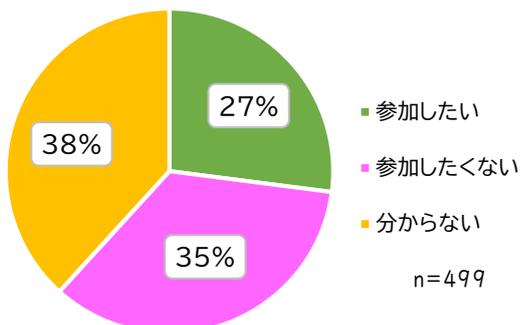
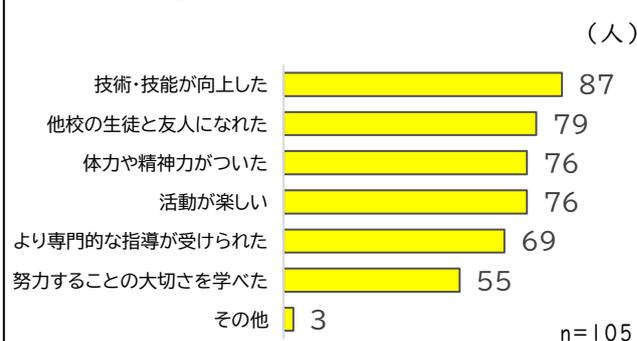


図4 中学校の部活動が平日のみとなった場合、休日に地域のスポーツ・文化芸術活動に参加したいか。

現在、上三川町立中学校で実施されている部活動数は、13種目26部あります。部員数が減少している部活動や、一校ではチームが組めず、合同部活動として活動しているが部活動も存在しています。学級数減に伴い、教員数も減り、部活動顧問の配属も難しい現状となってきていることから、部活動の在り方は喫緊の課題であります。

図4では、休日に地域のスポーツ・文化芸術活動に参加したい生徒の割合が27%と低く、休日においても

「学校の友達と活動したい」との回答が半数を超えていました（小学生の肯定的回答は69%）。今後、部活動地域移行のねらい、内容等を含め、生徒への周知の必要性が大切であると考えています。

保護者については、「子供の希望を尊重する」という意見が大勢でありましたが、交通手段や指導者との関わり方など、心配する声も聞かれています。また、用具代の費用や保険加入に関する事など、実施にあたっての課題も今後想定されます。

部活動指導を担う学校教職員は、働き方改革の観点においても負担軽減を訴える意見が挙がっています。休日の部活動地域移行に関して、指導者として携わるかとの問いに、肯定的回答が17%でした（図5）。

こうした現状を鑑み、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という意識の変換が求められており、学校や地域、行政等が連携しながら、子供たちの未来を保障しなければならないと考えます。

部活動地域移行に関しては、地域クラブ活動の指導者確保や、学校部活動の教育的意義の継承と発展、学校との連携を含む持続可能な運営体制など多くの課題が考えられます。今年度は、休日の部活動地域移行を視野に入れ、国の動向や前号で記載しました「とちぎ部活動移行プラン」に基づきながら、部活動検討委員会において今後の方向性を議論していく予定です。将来を生きる子供たちのウェルビーイングのため、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保を、協力できる大人たちのつながりをつくり、みんなが一致団結していければと考えます。

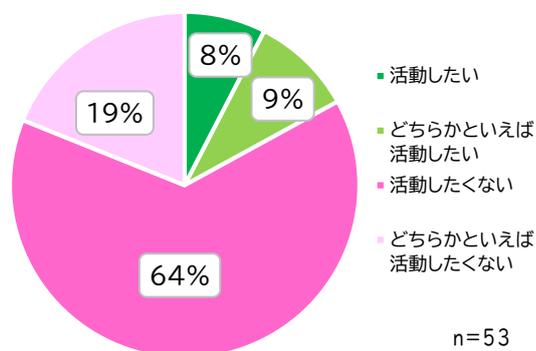


図5 現在担当している部活動の「地域指導者」として活動したいか。

部活動地域移行Q&A

Q1 学校の部活動はなくなるの？

A1 現時点では、学校の部活動はなくなりません。平日は今まで通り、学校の教員が顧問として部活動指導にあたります。まずは、休日の部活動地域移行を想定しています。

Q2 休日の部活動はすぐに地域に移行するの？

A2 令和7年度以降の休日における部活動の地域移行を段階的に進めます。そのため、今年度に休日の地域移行の成果と課題を検証し、慎重に判断します。

Q3 合同部活動って何？

A3 部員が少人数のため単独でチームが構成できない場合、同様に単独でチームが組めない学校と合同し、大会等に参加できる救済措置です。現在、合同部活動が一般的に行われています。